

やさい週間情報(第8号)

平成29年6月2日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	7,000~6,500	7,000~6,500	—	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 野菜全般に厳しい販売状況が続いているなか、ながいもについては引続き堅調な販売となっている。 売場はカット販売中心で、C品への引合いが強い状況が続いているが、B43LやM級以下についても幾分動きは良化している。 6月に入り「むぎとろの日」絡みでの宣伝会を実施する予定で、消費拡大および荷動きの改善に努める。
		A3L	7,000~6,500	7,000~6,500			
		A2L	6,000~	6,000~			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,500~	5,500~			
		B L	4,800~4,500	4,800~4,500			
		B M	4,200~	4,200~			
		C2L	4,700~4,500	4,700~4,500			
C L	4,200~4,000	4,200~4,000					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,500	6,500		1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 引続き総体量が少ない中、気温の上昇に伴い売場も広がってきており、カット販売向けで値ごろ感のあるC品を中心に引合いの強い状況が続いている。 来週末から消費宣伝も予定していることから売場拡大が見込まれ、C品を中心に相場を一段上げての販売が見込まれる。
		A3L	6,500	6,500			
		A2L	6,000	6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,200	4,200			
		B4L	6,000	6,000			
		B3L	6,000	6,000			
		B2L	5,500	5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,000	4,000			
		C2L	4,500~4,400	4,600~4,500			
C L	4,000	4,000					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	7,000~6,800	7,000~6,800		カット 68~98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 カット売となる太物とC品は安定した引合いがあり、特にC品でその傾向が強く、価格は強含みとなった。しかし、1本売で単価の高いL級は、他階級に比べると引合いは鈍い状態が続いている。また、全体的には保合推移となっている。 消費地では気温の高い日が続いているため、来週についても価格は堅調な販売となる見込み。
		A3L	7,000~6,800	7,000~6,800			
		A2L	6,000~	6,000~			
		A L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		B4L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B3L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B2L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B L	4,700~4,600	4,700~4,600			
		C2L	4,800~4,500	4,800~4,500			
		C L	4,000~3,800	4,000~3,800			
九州	本県産	A4L	7,000~6,800	7,000~6,800		カット 100g 98~78円	青果物全般に荷動きが鈍い中、ながいもは流通量の少なさと、気温の上昇により引合いが強いことから、価格面での変化はなく、概ね保合での推移となっている。 当面、量販店ではカット販売主体となる影響から、太物およびC品の引合いが強い傾向が続く。 しかし、売価高により売場が拡張されていないことから、来週以降管内各地で消費宣伝を実施し、消費の喚起と売場の維持・拡大を図る。
		A3L	7,000~6,800	7,000~6,800			
		A2L	6,500~6,300	6,500~6,300			
		A L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B4L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B3L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		B2L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		C2L	4,500~4,300	4,500~4,300			
		東北	本県産 北海道産	A4L			
A3L	6,500~			6,500~			
A2L	6,200~			6,200~			
A L	5,200~5,000			5,200~5,000			
B4L	6,000~5,800			6,000~5,800			
B3L	6,000~5,800			6,000~5,800			
B2L	5,000~5,300			5,000~5,300			
B L	4,800~4,500			4,800~4,500			
C2L	4,500~4,200			4,500~4,200			
C L	4,000~			4,000~			

品名 にんにく

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 (CA)	A 2 L	2,000~	2,000~	-	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円	本県産氷温品・CA品と西南暖地産の生品の販売となっている。 香川県産の生にんにくはだらだらとした出荷が続いている。本県産のCA品については終盤となっているが、生品の出荷も始まっており、全般的に厳しい販売状況となっている。 6月10日以降、香川県産の乾燥物の出荷が始まることと、本県産の生品の出回りのピークが重なることに加えて、安価な転送品も散見されることから、生品については厳しい販売が予想される。
		A L	2,200~2,000	2,200~2,000			
	A M	2,200~2,000	2,200~2,000				
	本県産 (生)	A 2 L	1,500	1,500~1,300	-	中国産 3 P 100 円	
A L		1,500	1,500~1,300				
A M		1,300	1,300~1,100				
	香川県産	秀 3 L	1,000~ 800	1,000~ 800	-	ｽ ^ﾊ ｲ ^ﾝ 産 1 P 158~98 円	
優 3 L		800~ 700	800~ 700				
良 3 L		600~ 500	600~ 500				
名古屋	本 県 産	A 2 L	2,000	2,000	-	L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 貯蔵品の終盤となってきており、徐々に入荷量も減ってきているものの、月末で荷動きが鈍く、安価な転送品の出回りから、L・M級を中心に弱保合での推移となった。 来週についても荷動きは鈍いものの、入荷量が減少する見込みとなっているため、保合での販売になると思われる。
		A L	2,200~2,000	2,200~2,000			
		A M	2,200~2,000	2,200~2,000			
		B 2 L	1,800	1,800			
		B L	2,000~1,800	2,000~1,800			
		B M	2,000~1,800	2,000~1,800			
大阪	本 県 産 中 国 産	A 2 L	2,000	2,000	-	L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 本県産が終盤となっており、入荷量は減少してきているものの、引続き安価な転送品の出回りが多いことから、L・M級を中心に流通在庫が溜まってきていることから、荷動きに回復は見られていない。 来週についても、荷動きは回復しきらないものの、入荷量が少ないことから、価格は保合推移となる見込み。
		A L	2,200~2,000	2,200~2,000			
		A M	2,200~2,000	2,200~2,000			
		B 2 L	1,800	1,800			
		B L	2,000~1,800	2,000~1,800			
		B M	1,800	1,800			
九州	本 県 産	2 L	2,200~2,000	2,200~2,000	-	L 1 P 298~258 円	九州各県産生にんにくの出荷ピークと、にんにく全般的な荷動きの鈍さから、徐々に価格を下げて販売しているが、流通在庫が多く弱保合での推移が続いている。 管内への入荷は概ね来週で終了となることから、若干価格を下げて市場・仲卸在庫の軽減を図る。
		L	2,400~2,200	2,400~2,200			

品名 にんにく No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M (生) A 2 L A L	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 1,400~1,300 1,400~1,300	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000	なし	L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 本県産の入荷は終盤から減少しており、荷動きが鈍い中ではあるが、市況は保合推移となっている。 来週について、引続き入荷量の少ない乾燥品は保合での販売となるものの、入荷増量が見込まれる生品については価格を下げた販売となる見込み。

品名 アスパラガス

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L 100g 150g	150~140 200~180	150~140 200~180			東北各産地中心の販売となっている。 東北各産地の出荷もピークをすぎ、各産地とも出荷量は落ち着いており、今週はやや価格を持ち直しての販売となった。 長崎県産をはじめ西南暖地の立茎栽培もの出荷開始となるが、総体量はそれほど多くない見込みから、保合での販売となる見込み。
大阪	広島県産 岡山県産 熊本県産 本県産	150g A 2 L 100g A L A M A S	200 150~ 130~ 90~	200 150~ 130~ 90~			九州産を主体に、中国地方産と本県産の販売。 気温の上昇から九州産・中国地方産ともに入荷量が増加しているが、先週から入荷が始まった北海道産は増え方が鈍いため、価格は保合推移となった。 来週についても、北海道産は増えきらないとの予想から、価格は保合推移となる見込み。
東北	本県産 東北産	100g A L 150g A L	本県産 150~ 140 160~	本県産 150~ 140 160~		—	本県産中心の販売。 本県産については、立茎作業に入る地域もあり、入荷量が減少しており、市況は強含み推移となっている。 来週についても、本県産の入荷量は減少傾向となることから、市況は強保合推移となる見込み。

品名 きぬさや

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	1 kg	3,000~2,500	3,000~2,500			<p>福島県産の露地物の出荷がピークをすぎ、総体量は少なかったところから、週後半には相場は底上げの販売となった。来週についても引続き、総体量はそれほど多くない見込みで相場は保合で推移する見込み。</p>
名古屋	本県産 福島産	A L A M	2,500~2,200 3,000~2,500	2,500~2,200 2,500			<p>本県・福島県産中心の販売となっている。 福島県産の入荷は先週よりも多かったものの、本県産は日々安定した入荷となったうえ、品質の良さから堅調な販売となった。 来週については、引続きハウス中心の出荷が見込まれ、大幅な増量にはならない見込みから、保合での販売が見込まれる。</p>
大阪	福島県産 広島県産 本県産	A L A M	2,500~2,000 2,800~2,500	2,500~2,000 2,800~2,500			<p>広島県産・福島県産・本県産の販売。 福島県産がピークを過ぎたため、幾分、総体量は減少傾向となった。 ただ、福島県産が安価であるため、本県産への注文は多くなく、業務需要も依然として活発ではないことから荷動きは鈍い。 来週については、岩手県産が開始されるが、福島県産の減量から総体量は減り、価格は保合推移となる見込み。</p>
東北	本県産	A M	2,500~	2,500~		—	<p>本県産中心の販売。 本県産の入荷がハウス物の終盤に伴い減少したことから、市況は強含み推移となった。 来週については本県産露地物の入荷増が見込まれるものの、大幅な増量とはならないことから市況は保合推移となる見込み。</p>

品名 だいこん

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	千葉県産 本県産	A 2 L A L A 2 L A L	500～ 400 600～ 500 900～ 1,100～1,000	500～ 400 600～ 500 900～ 800 1,100～1,000	—	1本 198～178円 ハーフカット 98円	千葉県産を中心に関東近在産の販売となっている。 関東近在産の出荷は6月10日頃までの見込みだが、品質劣化(黒しみ等)の影響と、市場集約の関係から管内への数量が増えており、厳しい販売となっている。 来週についても引続き、本県産の入荷増量と、関東近在産の出荷も続くことから、相場もやや下げながらの販売となる見込み。
名古屋	本県産 愛知産	A 2 L A L	1,000～ 900 1,100～1,000	1,000～ 900 1,100～1,000		1本売り 178～198円	愛知県産が終盤、本県産が徐々に増量となっている。 本県産については、来週後半から量販店での企画が増えてくる見込みとなっているものの、品質不良や入荷の不安定さなどから引合いが鈍く、弱保合での販売となった。 本県産の品質への懸念もあり、愛知県産からの切替えが遅れており、来週についても弱保合での販売となる見込み。
大阪	和歌山県産 長崎県産 本県産	A 2 L A L	1,000～800 1,200～1,000	1,000～800 1,200～1,000			長崎県産・本県産・北海道産の販売となっている。 前段産地は終盤だが、新たに北海道の入荷が始まっており、総体量は変わっていない。 なお、北海道産は天候不良から入荷が不安定で、天候が回復し次第、増量してくる見込みとなっている。 来週については、本県産への産地切替えが進むと思われるが、総体量は多く、価格は弱気配となる見込み。
東北	関東近在産 本県産	A 2 L A L	900～ 800 1,100～1,000	900～ 800 1,100～1,000	—		本県産中心の販売。 本県産の入荷が増加となったことから、市況は軟調推移。関東近在産については、出荷はほぼ終了となっており、売場は本県産へ切り替わっているものの、荷動きはやや鈍い。 来週についても本県産の入荷量は変わらない中、荷動きの鈍い状況が続くことから、価格については弱保合での推移が見込まれる。

品名 こかぶ

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 千葉県産	A 2 L A L 3玉結束	1,000～ 800 1,000～ 800 30～ 20	1,000～ 700 1,000～ 700 30～ 20			千葉県産および本県産の販売。 千葉県産の残量は潤沢にある中で、千葉県産の品質も比較的良く産地の切り替えがスムーズに行われていない状況となっている。 本県産については品質不良も少なく評価が高いが、千葉県産との価格差から荷動きは緩慢な状況は続く見込み。
名古屋	本県産 福井産	A 3 L A 2 L	1,000～ 900 900～ 800	900～ 800 900～ 800			本県産中心の販売となっている。 本県産は徐々に増量となった中、関東などから安価な転送品が出回ったことから、弱含みでの販売となった。 品質は良好であるものの、前段産地の残量が本県産の価格を大きく下回っていることから、市況は弱含みの見込み。
東北	本県産	A 2 L A L	900～ 700 900～ 700	1,000～ 900 1,000～ 900			本県産中心の販売。 本県産の入荷量が増加となった中、安価な関東産の入荷がまだ続いており、本県産については厳しい販売となっている。 来週については、本県産の入荷は増加となるものの、関東産の入荷が減少となること、末端の売場も広がっていくことから、市況は保合推移の見込み。

品名 きゅうり

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,500～	1,500～			関東近在産の販売となっている。 関東近在産については終盤となっており、入荷量はそれほど多くはない為、価格は保合推移となっている。 福島県産の生育は平年より1週間程度遅れており、出荷量がまとまってくるのは6月中旬頃を見込んでいる。 来週についても、入荷量の極端な増減はない見込みから保合での販売となる見込み。

品名 ミニトマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	パック	140~130	140~130			<p>熊本県産および関東近在産の販売。 熊本県産は出荷のピークを過ぎ、徐々に出荷量も減少している。関東近在産については、出荷ピークを過ぎているものの日々増減を繰り返しており、入荷の安定しない状況が続いている。 来週については、東北産への引合いが強まることから相場は強含みの展開が予想される。</p>
	関東産	3Kバラパック	1,500 120~100	1,500 120~100			